

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
信託期間	2018年4月24日から2028年4月21日まで
運用方針	連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	欧州通貨建てのバンクローン等
当ファンドの運用方法	<p>■主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資します。</p> <p>■バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロッパ・シニアローン・ファンド」（以下、「連動対象ファンド」といいます。）の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（以下、「連動債券」といいます。）を通じて行います。</p> <p>■連動債券への投資比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>■バンクローン等の実質的な運用は、インベスコ・シニア・セキュアード・マネジメント・インクが行います。</p> <p>■連動対象ファンドを対円で為替ヘッジしない場合の投資成果を反映した連動債券に投資するため、為替変動による影響を受けます。</p>
組入制限	<p>■株式への投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>■毎月21日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

欧州バンクローン・オープン （為替ヘッジなし） 【運用報告書（全体版）】

第8作成期（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

第 43 期 / 第 44 期 / 第 45 期
決算日2021年11月22日 決算日2021年12月21日 決算日2022年1月21日

第 46 期 / 第 47 期 / 第 48 期
決算日2022年2月21日 決算日2022年3月22日 決算日2022年4月21日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金	期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
19期 (2019年11月21日)	9,066	10	△ 0.4	97.3	680
20期 (2019年12月23日)	9,245	10	2.1	97.0	641
21期 (2020年1月21日)	9,402	10	1.8	99.3	635
22期 (2020年2月21日)	9,182	10	△ 2.2	98.6	562
23期 (2020年3月23日)	7,185	10	△21.6	99.7	433
24期 (2020年4月21日)	7,471	10	4.1	94.8	451
25期 (2020年5月21日)	7,731	10	3.6	94.8	467
26期 (2020年6月22日)	8,365	10	8.3	95.8	501
27期 (2020年7月21日)	8,524	10	2.0	95.7	511
28期 (2020年8月21日)	8,838	10	3.8	98.3	516
29期 (2020年9月23日)	8,764	10	△ 0.7	98.4	510
30期 (2020年10月21日)	8,815	10	0.7	99.2	508
31期 (2020年11月24日)	8,976	10	1.9	97.6	499
32期 (2020年12月21日)	9,355	10	4.3	93.8	512
33期 (2021年1月21日)	9,479	10	1.4	94.2	516
34期 (2021年2月22日)	9,676	10	2.2	95.1	522
35期 (2021年3月22日)	9,889	10	2.3	93.6	482
36期 (2021年4月21日)	9,921	10	0.4	94.1	480
37期 (2021年5月21日)	10,176	10	2.7	94.3	381
38期 (2021年6月21日)	10,170	10	0.0	94.3	379
39期 (2021年7月21日)	9,974	10	△ 1.8	92.6	348
40期 (2021年8月23日)	9,932	10	△ 0.3	94.2	340
41期 (2021年9月21日)	10,091	10	1.7	98.6	329
42期 (2021年10月21日)	10,337	10	2.5	92.1	330
43期 (2021年11月22日)	10,115	10	△ 2.1	94.4	314
44期 (2021年12月21日)	9,969	10	△ 1.3	93.8	311
45期 (2022年1月21日)	10,135	10	1.8	95.0	311
46期 (2022年2月21日)	10,127	10	0.0	94.7	311
47期 (2022年3月22日)	10,008	10	△ 1.1	89.6	294
48期 (2022年4月21日)	10,544	10	5.5	91.2	274

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

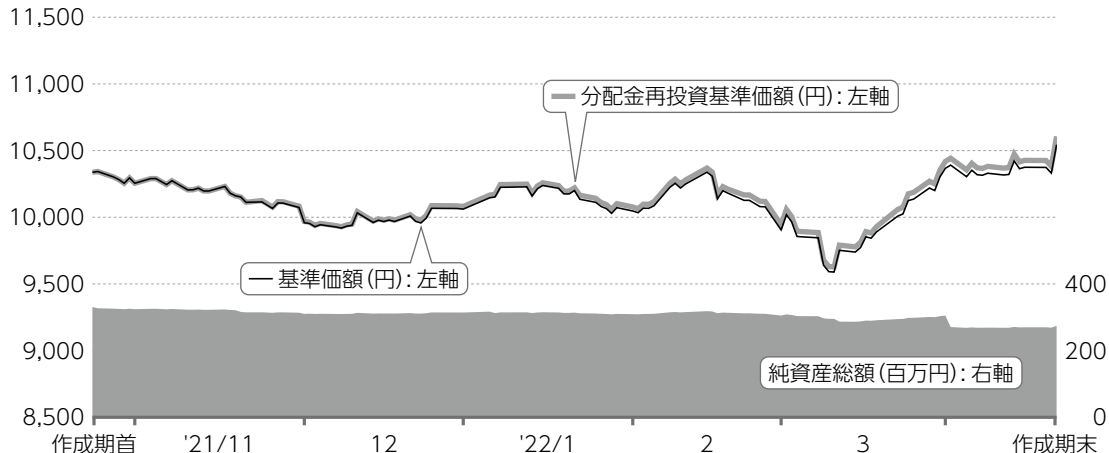
決算期	年月日	基準	価額		公組 入社比	債率
			騰	落率		
第43期	(期首) 2021年10月21日	円	10,337	% —	92.1	%
	10月末		10,255	△0.8	93.2	
	(期末) 2021年11月22日		10,125	△2.1	94.4	
第44期	(期首) 2021年11月22日		10,115	—	94.4	
	11月末		9,959	△1.5	94.2	
	(期末) 2021年12月21日		9,979	△1.3	93.8	
第45期	(期首) 2021年12月21日		9,969	—	93.8	
	12月末		10,061	0.9	93.8	
	(期末) 2022年1月21日		10,145	1.8	95.0	
第46期	(期首) 2022年1月21日		10,135	—	95.0	
	1月末		10,047	△0.9	94.9	
	(期末) 2022年2月21日		10,137	0.0	94.7	
第47期	(期首) 2022年2月21日		10,127	—	94.7	
	2月末		9,905	△2.2	94.6	
	(期末) 2022年3月22日		10,018	△1.1	89.6	
第48期	(期首) 2022年3月22日		10,008	—	89.6	
	3月末		10,367	3.6	90.0	
	(期末) 2022年4月21日		10,554	5.5	91.2	

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,337円
作成期末	10,544円 (当作成期既払分配金60円(税引前))
騰落率	+2.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

当ファンドは、連動債券（為替ヘッジなし）への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資を行いました。

上昇要因

- 連動債券を通じて、主に投資をしているバンクローン資産からの相対的に高いインカムゲイン（利息収入）を安定的に享受したこと
- 経済の回復局面でバンクローン市場が上昇したこと
- 概ね円安ユーロ高で推移したこと

下落要因

- 新型コロナの変異ウイルス（オミクロン型）の感染再拡大に対する懸念やロシア軍によるウクライナ侵攻に伴う地政学リスクの高まりなどによって、投資家がリスクに対して慎重になる局面があったこと

投資環境について（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

期間におけるバンクローン市場は、ほぼ横ばいとなりました。また、為替市場では欧州通貨は円に対して上昇しました。

バンクローン市場

期間を通じてみると、バンクローン市場はロシア軍によるウクライナ侵攻などがあったものの、コロナ・ショックからの回復局面が継続したことなどにより金利が上昇したにもかかわらず、相対的に底堅く推移し、ほぼ横ばいとなりました。

期間の初め、バンクローン市場は、欧州主要国で経済の再開が進み、概ね堅調に推移しました。景気回復が進む一方で、インフレ率の高止まりがみられるようになりました。

期間の中盤は、変異ウイルス（オミクロン型）による感染再拡大への懸念などで、市場のセンチメント（投資家心理）がやや悪化する局面もありましたが、重症化リスクが低いことなどからバンクローン市場は底堅く推移しました。

期間の後半は、ウクライナ紛争の勃発やそれによるインフレ悪化懸念などでバンクローンを含めたリスク資産全般に影響を与えましたが、有担保で変動金利であるバンクローン市場は、高めのインカムを継続的に享受できたこともあって、相対的には底堅く推移しました。

為替市場

ユーロなどの欧州通貨は対円で上昇しました。ウクライナ情勢の経済に与える悪影響が懸念され、欧州通貨の下落要因となった一方、ECB（欧州中央銀行）の金融政策の正常化への期待による欧州金利の上昇などが欧州通貨の上昇要因となりました。

ポートフォリオについて（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

当ファンド

バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド」（連動対象ファンド）の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（連動債券）を通じて行いました。

インベスコ・ゾディアック・ファンズー インベスコ・ヨーロピアン・シニア ローン・ファンド（連動対象ファンド）

主として欧州通貨建てのバンクローンへの実質的な投資を高位に保つ運用を行いました。

個別銘柄選択では、業績不振が見込まれる銘柄や、信用力に問題のある銘柄への投資を抑制しながら、第一抵当権を有する債務を中心に投資し、格付け別では「B」格への配分を高位に保ちました。

業種別では、リスク調整後の相対価値を勘案し、市場対比でレジャー、宿泊・カジノ、金融などに関連する銘柄への配分を高位とした一方、ヘルスケア、化学、エレクトロニクスなどに関連する銘柄への配分を低位としました。

ベンチマークとの差異について（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	(0.10%)	(0.10%)	(0.10%)	(0.10%)	(0.10%)	(0.09%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	989	1,011	1,040	1,063	1,083	1,113

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。

インベスコ・ゾディアック・ファンズ インベスコ・ヨーロピアン・シニア ローン・ファンド(連動対象ファンド)

ユーロ圏では勃発したウクライナ紛争の影響などでインフレ圧力がさらに強まっています。ユーロ圏の企業景況感は引き続き底堅く推移していますが、独 I F O 企業景況感指数や P M I（購買担当者景気指数）などの将来の景気見通しに関する経済指標に低下がみられ、今後特に製造業の景況感が悪化することを示唆しています。

ウクライナ情勢の今後の展開が不透明であることもあり、バンクローン市場を含めてあらゆるリスク資産は当面影響を受けやすいと思われませんが、その中ではバンクローン市場のボラティリティ（価格変動性）への影響は相対的に低くなる可能性が高いと考えます。

その背景として、ウクライナ紛争はコモディティ（商品）価格やエネルギー価格の上

昇圧力や今後の金融政策への影響などを通じて金利の変動要因となりますが、バンクローンは変動金利のためにその影響を受けにくいことがあります。また、バンクローンは有担保であるため株式などのリスク資産全般が弱含む際にもローン価格のサポートを受けやすいことや、相対的に高めのクーポンを安定的に享受できることなどがあげられます。足元では新規発行によるローン供給がやや抑制されていますが、その一方で需要は引き続き底堅く、良好な需給環境もバンクローン市場を引き続き支えすると思われれます。

金融市場では今後のインフレ動向や金利動向に加えて、地政学リスクへの関心が集まっており、今後とも留意が必要ですが、上記のようなことからバンクローン市場は引き続き相対的には底堅く推移すると考えます。

当ファンドでは、リスク調整後の相対価値を重視しながら、引き続き発行体のファンダメンタルズ（基礎的条件）に対する詳細な調査を行い、個々のローンなどのバリュエーション（投資価値評価）を考慮したバランスの取れたポートフォリオの運営を行っていきます。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

1万口当たりの費用明細（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	51円	0.507%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,112円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.164)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0.329)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.013)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(－)	(－)	
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
（保 管 費 用）	(1)	(0.013)	
（監 査 費 用）	(0)	(0.005)	
（そ の 他）	(0)	(0.000)	
合 計	53	0.524	

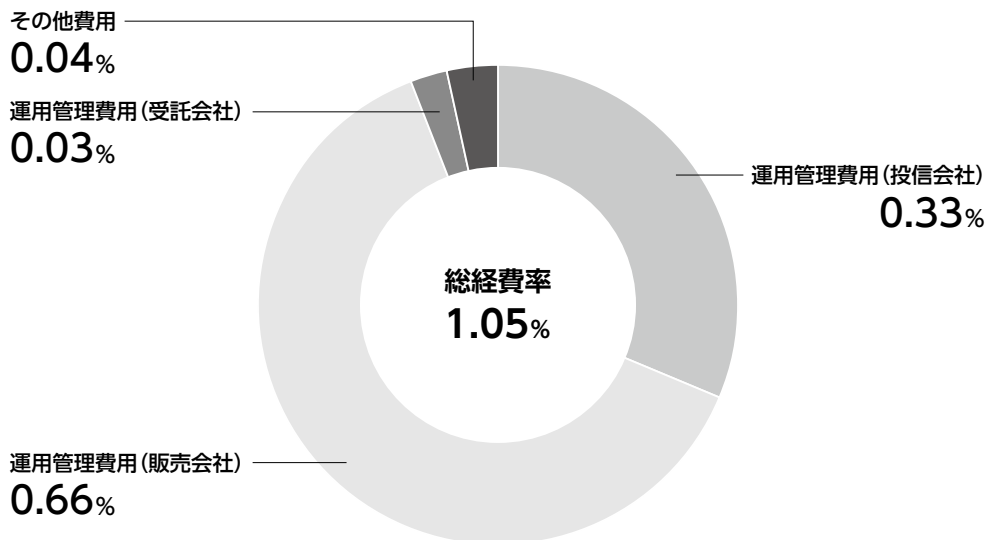
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.05%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

公社債

		当 作 成 期	
		買 付 額	売 付 額
国内	社 債 券	千円 —	千円 55,026

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2021年10月22日から2022年4月21日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2022年4月21日現在）

公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	作 成 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
普 通 社 債 券	千円 260,000 (260,000)	千円 250,146 (250,146)	% 91.2 (91.2)	% — (—)	% 91.2 (91.2)	% — (—)	% — (—)
合 計	260,000 (260,000)	250,146 (250,146)	91.2 (91.2)	— (—)	91.2 (91.2)	— (—)	— (—)

※（ ）内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	作 成 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普 通 社 債 券	STAR Helios plc IESLF Unhedged Tranche Notes 04/12/2028	%	千円	千円	
		0.0000	260,000	250,146	2028/04/12
小	計	—	260,000	250,146	—
合	計	—	260,000	250,146	—

■ 投資信託財産の構成

(2022年4月21日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 250,146	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,663	91.0
投 資 信 託 財 産 総 額	274,809	9.0
		100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年11月22日) (2021年12月21日) (2022年1月21日) (2022年2月21日) (2022年3月22日) (2022年4月21日)

項 目	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末	第 48 期 末
(A) 資 産	320,442,624円	311,808,516円	312,496,435円	312,380,426円	295,063,262円	274,809,192円
コール・ローン等	23,194,616	19,783,778	15,938,201	16,726,757	30,820,341	24,358,559
公社債(評価額)	297,056,000	291,808,000	296,320,000	295,392,000	263,958,000	250,146,000
その他未収収益	192,008	216,738	238,234	261,669	284,921	304,633
(B) 負 債	5,602,643	570,006	587,477	588,947	549,809	509,740
未払収益分配金	311,263	312,215	307,758	307,882	294,289	260,142
未払解約金	5,000,000	—	—	—	—	—
未払信託報酬	288,352	252,238	271,391	269,986	241,969	233,646
その他未払費用	3,028	5,553	8,328	11,079	13,551	15,952
(C) 純資産総額(A-B)	314,839,981	311,238,510	311,908,958	311,791,479	294,513,453	274,299,452
元 本	311,263,212	312,215,173	307,758,710	307,882,337	294,289,618	260,142,468
次期繰越損益金	3,576,769	△ 976,663	4,150,248	3,909,142	223,835	14,156,984
(D) 受 益 権 総 口 数	311,263,212口	312,215,173口	307,758,710口	307,882,337口	294,289,618口	260,142,468口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,115円	9,969円	10,135円	10,127円	10,008円	10,544円

※当作成期における作成期首元本額319,916,916円、作成期中追加設定元本額1,533,865円、作成期中一部解約元本額61,308,313円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

■ 損益の状況

〔自2021年10月22日〕
〔至2021年11月22日〕
〔自2021年11月23日〕
〔至2021年12月21日〕
〔自2021年12月22日〕
〔至2022年1月21日〕
〔自2022年1月22日〕
〔至2022年2月21日〕
〔自2022年2月22日〕
〔至2022年3月22日〕
〔自2022年3月23日〕
〔至2022年4月21日〕

項 目	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
(A) 配 当 等 収 益	1,253,681円	1,271,878円	1,268,823円	1,270,921円	1,154,006円	1,059,454円
受 取 利 息	1,232,449	1,248,022	1,248,020	1,248,037	1,131,018	1,040,009
そ の 他 収 益 金	22,477	24,730	21,496	23,435	23,252	19,698
支 払 利 息	△ 1,245	△ 874	△ 693	△ 551	△ 264	△ 253
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 7,545,906	△ 5,248,000	4,430,882	△ 928,000	△ 4,122,670	13,406,746
売 買 益	101,946	-	4,512,000	-	729,133	14,636,210
売 買 損	△ 7,647,852	△ 5,248,000	△ 81,118	△ 928,000	△ 4,851,803	△ 1,229,464
(C) 信 託 報 酬 等	△ 296,745	△ 262,883	△ 279,201	△ 277,776	△ 249,480	△ 246,942
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 6,588,970	△ 4,239,005	5,420,504	65,145	△ 3,218,144	14,219,258
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	21,498,463	14,598,230	9,899,812	15,012,558	14,112,458	9,366,720
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,021,461	△ 11,023,673	△ 10,862,310	△ 10,860,679	△ 10,376,190	△ 9,168,852
(配当等相当額)	(4,983,429)	(5,077,645)	(5,015,181)	(5,028,081)	(4,815,996)	(4,265,784)
(売買損益相当額)	(△16,004,890)	(△16,101,318)	(△15,877,491)	(△15,888,760)	(△15,192,186)	(△13,434,636)
(G) 合 計 (D + E + F)	3,888,032	△ 664,448	4,458,006	4,217,024	518,124	14,417,126
(H) 収 益 分 配 金	△ 311,263	△ 312,215	△ 307,758	△ 307,882	△ 294,289	△ 260,142
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	3,576,769	△ 976,663	4,150,248	3,909,142	223,835	14,156,984
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,021,461	△ 11,023,673	△ 10,862,310	△ 10,860,679	△ 10,376,190	△ 9,168,852
(配当等相当額)	(4,983,429)	(5,077,645)	(5,015,181)	(5,028,081)	(4,815,996)	(4,265,784)
(売買損益相当額)	(△16,004,890)	(△16,101,318)	(△15,877,491)	(△15,888,760)	(△15,192,186)	(△13,434,636)
分 配 準 備 積 立 金	25,811,788	26,508,568	27,019,108	27,704,371	27,081,564	24,711,877
繰 越 損 益 金	△ 11,213,558	△ 16,461,558	△ 12,006,550	△ 12,934,550	△ 16,481,539	△ 1,386,041

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
(a) 経費控除後の配当等収益	956,936円	1,008,995円	1,206,673円	993,145円	904,526円	1,041,378円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,983,429	5,077,645	5,015,181	5,028,081	4,815,996	4,265,784
(d) 分配準備積立金	25,166,115	25,811,788	26,120,193	27,019,108	26,471,327	23,930,641
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	31,106,480	31,898,428	32,342,047	33,040,334	32,191,849	29,237,803
1万口当たり当期分配対象額	999.36	1,021.68	1,050.89	1,073.15	1,093.88	1,123.92
(f) 分配金	311,263	312,215	307,758	307,882	294,289	260,142
1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。